

The Amoeba クラウドサービス利用規約

第1章 総則

第1条（本規約）

1. 京セラコミュニケーションシステム株式会社（以下「当社」といいます）は、本規約に基づき利用者に本サービスを提供します。なお、The Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧並びに注文書は、本規約の内容と合わせて当社から利用者に対する本サービスの提供条件等を定めるものとしします。
2. 本規約、The Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧、注文書のそれぞれの内容に関して齟齬がある場合、当社が承諾した注文書の内容を優先し、The Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧、本規約の順に、それぞれの内容を適用するものとしします。
3. 利用者は、本規約の内容を誠実に遵守するものとしします。

第2条（本規約及びThe Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧の変更）

1. 当社は、本条の定めに従い、本規約及びThe Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧の内容を適宜変更することができるものとしします。この場合、変更日以降、本規約及びThe Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧の変更後の内容を適用します。
2. 当社が本規約及びThe Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧の変更を行う場合、一定の予告期間を設けて第4条に定める方法により利用者に通知します。なお、利用者から当該予告期間内に利用契約を解約する旨の通知が当社になされなかった場合、当社は、利用者が当該変更内容を承諾したものとみなし取り扱います。
3. 前項の定めにかかわらず、本規約及びThe Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧の変更内容について利用者に実質的な不利益を及ぼさないと当社が合理的に判断する場合、当社は、前項の通知を行うことなく本規約及びThe Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧の変更を行います。

第3条（用語の定義）

本規約において使用する用語の定義は、本規約において別途定めがない限り、次のとおりとしします。

用語	用語の定義
本サービス	本規約及びThe Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧の定めに基づき、当社がインターネットを経由し、統合基幹業務システム「The Amoeba」に関する各種データ等を提供するサービスの総称。
The Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧	本サービスの利用申し込み後に、当社から利用者に提示される、本サービスの利用条件その他サービス内容等の詳細を記載した文書。
The Amoeba クラウドサービス 品質目標値	当社が独自に定めた上で、利用者に対して提供する本サービスについての努力目標値。
注文書	本サービスの利用を申込みための注文書。
利用契約	本規約に従い利用者と当社との間で締結される本サービスを利用するための契約。
利用者	本規約に基づき本サービスを利用することを希望、または利用する法人
アクセスキーID	利用者を識別するための符合。1つの利用契約に対して1つ存在する。

サービス料金	本サービスの利用にかかる利用料。
サービス料金等	サービス料金、その他本サービスの利用に関して生じる費用その他利用者の当社に対する支払債務。
電気通信設備等	電気通信を行うための実在する物理的電気設備及び電気機器（コンピュータ、ソフトウェア関連の機器を含む）、電気通信回線、それらの組み合わせにより組成される通信ネットワーク環境等の総称。
利用者設備	本サービスの提供を受けるため利用者が設置する電気通信設備等
本サービス用設備	本サービスを提供するにあたり当社が設置する電気通信設備等
認定利用者	当社が利用者の関連会社（利用者と出資、人事、資金または技術等に関する継続的な関係を有する会社）と認定し、利用契約に基づき本サービスの利用を承諾した者

第4条（当社から利用者への周知事項の通知方法）

1. 本規約の定めに基づく利用者への通知並びに当社が利用者への周知が必要と判断する場合の連絡は、別途定める場合を除き、電子メールを送信する方法により行うものとします。なお、当該電子メールによる通知は、次項に定める方法に基づき行われるものとし、当該電子メールが送信されたときをもって完了したものとみなします。
2. 前項に定める電子メールは、別途当社が指定する電子メールアドレスより、利用者が利用申込の際にあらかじめ指定した契約責任者及び担当者の電子メールアドレスに宛てに送信する方法によるものとします。

第2章 利用契約

第5条（利用申込）

1. 利用者は、本サービスの利用の申込を行う場合、本規約の内容を承諾の上、注文書に所定事項を記入し当該注文書を当社に提出するものとします。
2. 利用者は、本サービスの申込内容の変更等を希望する場合、前項の定めに従い変更内容が記載された注文書を当社に提出するものとします。
3. 利用者は、当社に注文書を提出した場合、本規約の内容を異議なく承諾したものとみなされるものとし、当社は、利用者から注文書を受領した場合、利用者が本規約の内容を理解し、異議なく承諾したものとみなし本サービスにかかる手続を行うものとします。

第6条（利用契約の成立）

1. 利用契約は、利用者が前条に基づき注文書を提出し、当社が当該注文書にかかる本サービスの利用に関する審査等において、本サービスの利用申込を承諾したときに成立します。なお、当社は、利用者からの注文書を受領した場合、特段の事情がある場合を除き、受領後当社の10営業日以内に当該利用申込についての利用条件等の詳細を記載したThe Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧を提示する方法により、当該申込を承諾する旨の通知を行うものとします。なお、次項以下の定めにより当社が当該利用申込を拒絶・延期する場合には、拒絶・延期する旨の通知を行うものとします。
2. 当社は、次の各号の何れかに該当する場合、利用契約の申込を拒絶することができます。また、当社は、利用契約成立後に次の各号の何れかに該当することが判明した場合、当該利用契約をい

つでも解除できるものとします。

- (1) 注文書に虚偽・誤記、または記入漏れがあると判断される場合
 - (2) 迷惑行為や犯罪行為等を意図した申込と認められる場合
 - (3) サービス料金等の未払い、またはその恐れがあると判断される場合
 - (4) 過去に当社が提供する他のサービスの利用契約を解除されたことがある場合
 - (5) 他の利用者に対し迷惑その他悪影響を及ぼすと当社が判断する場合
 - (6) 本サービス提供において技術上または業務上の支障があると当社が判断する場合
 - (7) 利用契約の締結が適当ではないと当社が判断する場合
3. 当社は、本サービス用設備を準備するため、利用契約の申込の承諾を延期できるものとします。
 4. 利用者は、本サービスを、利用者が注文書に記載する利用開始希望日を考慮して当社が決定する利用開始日より利用できるものとし、当社は、利用開始日決定後、利用開始日を利用者に通知するものとします。なお、当社が利用開始日を決定するにあたり利用者が注文書に記載する利用開始希望日と著しく相違する場合、当社は、当社の判断により、事前に利用者との協議を行い必要な調整を行う場合があります。
 5. 第3項及び第4項により、本サービスの利用開始日が、利用者が届出た利用開始希望日を越えたことにより、何らかの損害を被った場合といえども、当社は何ら責任を負いません。

第7条 (利用者情報登録)

1. 利用者は、本サービスの利用申込をする場合、当社からの要請に従い、法人名または事業主名、所在地、契約者情報（以下、併せて「利用者情報」といいます）、接続情報等を届出るものとします。なお、当社は、利用契約成立後すみやかに利用者情報を登録するものとします。
2. 当社は、利用者情報の登録が完了した場合、利用者に対して、アクセスキーIDを付与し、その通知を行います。
3. 利用者は、利用者情報に変更が生じた場合、当社所定の方法により、変更予定日の30日前までにその変更を届出るものとし、当社は当該変更の届出がなされた場合、すみやかにその対応を行うものとします。なお、利用者は当社が求める場合すみやかにその事実を証する書面を提出するものとします。
4. 当社は、利用者が当該変更の届出を行わなかったことにより何らかの損害を被った場合といえども、何ら責任を負いません。

第3章 本サービスの利用及び提供

第8条 (本サービスの内容)

1. 本サービスの内容についての詳細は、The Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧に定めるものとします。なお、当社は、第2条第2項及び同第3項の定めに基づいて、本サービスの内容及びThe Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧を変更することがあります。
2. 本サービスの利用期間（以下「利用期間」といいます）は、The Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧に記載のとおりとします。なお、期間満了の60日前までに利用者または当社から利用

契約を終了する旨の意思表示がないときは、利用期間は、その満了日の翌日からさらに1年間更新されるものとし、以降においても同様に更新されるものとします。

3. 本サービスの最低利用期間は、利用者に本サービスの提供を開始した日から起算して36カ月とします。

第9条（本サービスの利用）

1. 当社は、当社が構築したサーバに対してインターネット経由でアクセスする利用者を対象として本サービスを提供するものとします。
2. 利用者は、本規約並びにThe Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧の定めに従い、本サービス用設備に対してインターネット経由でアクセスし、本サービスを利用するものとします。

第10条（認定利用者の利用）

利用者は、当社があらかじめ書面または当社所定の方法により承諾した場合、認定利用者に本サービスを利用させることができるものとします。この場合、利用者は、認定利用者による利用を自己の利用とみなされることを承諾するとともに、かかる認定利用者による本サービスの利用について一切の責任を負うものとします。

第11条（提供時間）

利用者は、当社が本規約に基づき本サービスの提供を停止または制限する場合、またThe Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧に別途定めがある場合を除き、いつでも本サービスを利用できるものとします。

第12条（アクセスキーIDの管理）

1. 利用者は、当社から付与されたアクセスキーIDを自らの責任において厳重に管理するものとし、これらの不正使用により当社または第三者に損害を与えることのないよう、万全の措置を講じるものとします。
2. アクセスキーIDを用いて行われた本サービスの利用に関しては、利用者の承諾または認識の有無を問わず、全て利用者による行為とみなされるものとし、当該行為にかかる効果または責任は全て利用者に帰属するものとします。なお、利用者は不正使用に起因する全ての損害につき自ら責任を負うものとします。
3. 利用者は、アクセスキーIDが第三者によって不正使用された場合、直ちに当社に連絡するものとします。
4. 当社は、アクセスキーIDの漏洩または不正使用等から生じた損害について、その責任を負いません。
5. 当社は、アクセスキーIDの漏洩を原因とする不正使用が発生した場合、強制的にアクセスキーIDを変更することがあります。この場合、当社は利用者にもその旨を通知します。
6. 利用者は、アクセスキーIDの漏洩、不正使用等により当社に損害を与えた場合、当社にその損害の全てを賠償するものとします。

第13条（利用者設備の設定・維持等）

1. 利用者は、本サービスを利用するにあたり自己の費用と責任において、当社が定める条件にて利用者設備に必要な設定を行うものとし、利用者設備の当該設定その他本サービス利用のための環境を維持するものとし、
2. 利用者は、利用者設備その他本サービス利用のための設備ないし環境（本サービス用設備を除く）に不具合がある場合、当該不具合について、その全てを自らの責任において復旧するものとし、
3. 当社は、当社が本サービスに関して保守、運用上または技術上必要であると判断した場合、利用者が本サービスにおいて提供、伝送するデータについて、監視、分析、調査その他必要な行為を行うことができるものとし、

第14条（導入支援及びサポート）

当社は、利用者からの申込みがある場合、The Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧に定める導入支援及びサポート業務を利用者に対して提供します。なお、導入支援及びサポートの条件は別途協議を行い、当社が決定するものとし、

第15条（止むを得ない事由による本サービスの提供停止または制限）

1. 当社は、次の各号に定めるいずれかに該当する場合、該当事由が解消され当社において再開が可能となるまでの間、本サービスの提供を停止または制限することがあります。なお、当社は、別途当社が定める場合を除き、本条により本サービスを停止または制限した期間にかかるサービス料金について、利用者に対して支払免除または減額等の措置を行いません。
 - (1) 本サービス用設備のメンテナンスを行う場合
 - (2) 当社以外の電気通信事業者が電気通信サービスの提供を停止した場合
 - (3) 技術上、または本サービス用設備の運用または本サービスの運営上、本サービスの提供を停止することが必要と判断される場合
 - (4) 火災、停電等の事故により本サービスの提供が不可能となった場合
 - (5) 戦争、暴動、騒乱等の人的要因により本サービスの提供が不可能となった場合
 - (6) 地震、噴火、洪水、津波等の天災により本サービスの提供が不可能となった場合
 - (7) 司法、行政からの法令上の要請に基づく場合
 - (8) その他当社の責に帰すべき事由によらず本サービスの提供が不可能となった場合
2. 当社は天災地変その他の非常事態が発生しまたは発生するおそれがある場合、災害の予防または救援、交通、電気通信若しくは電力の供給の確保、また秩序の維持のために必要な事項を内容とする電気通信、並びに公共の利益のために緊急を要する事項を内容とする電気通信を優先的に扱うため、本サービスの提供を制限することがあります。
3. 当社は、前各項の規定により本サービスの提供を停止または制限する場合、事前に当該停止または制限の理由、日時を利用者に通知するものとし、ただし、緊急やむを得ない場合は、利用者への通知を行うことなく直ちに本サービスの提供を停止することがあります。
4. 当社は、第1項及び第2項により本サービスの提供を停止または制限したことにより利用者が何らかの損害を被った場合といえども、利用者に対し一切の責任を負わないものとし、

第16条（本サービスの提供停止）

1. 当社は、利用者が次の各号に定めるいずれかに該当する場合、該当事由が解消され当社により本サービスの提供再開が可能となるまでの間、本サービスの提供を停止できるものとします。なお、利用者は、当社が本サービスの提供を停止した場合においても、本条によりサービス料金の支払義務を免れないものとします。
 - (1) 支払期日を経過したにもかかわらず、サービス料金等を支払わない場合、破産その他資産、信用状態に著しい変更、不安が生じた場合
 - (2) 本サービスその他当社のサービスを利用して、本サービスもしくは当社または他の利用者その他第三者の著作権等の知的財産権その他の権利を侵害する行為を行った場合
 - (3) 本サービスその他当社のサービスを利用して、当社または他の利用者が運営するサービスを妨害する行為を行った場合
 - (4) 当社または他の利用者その他第三者を誹謗若しくは中傷し、または当社または他の利用者その他第三者の信用、名誉を毀損する行為を行った場合
 - (5) 違法行為または公序良俗に反する行為、その他社会的に問題となる行為を行った場合
 - (6) 本規約に違反する行為、あるいは不正アクセス、クラッキング、アタック等本サービスの運営に支障を及ぼす行為を行った場合
 - (7) 利用契約に関して当社に虚偽の事項を通知していたことが判明した場合
 - (8) 利用者以外の第三者に本サービスを利用させる行為を行った場合
 - (9) その他前各号に該当するおそれのある行為またはこれに類する行為を行った場合
2. 当社は、前項の規定により本サービスの提供を停止する場合、事前に当該停止の理由、日時を利用者に通知するものとします。ただし、緊急やむを得ない場合、当社は、利用者への通知を行うことなく直ちに本サービスの提供を停止することがあります。
3. 当社は、第1項及び第2項により本サービスの提供を停止したことにより利用者が何らかの損害を被った場合といえども、利用者に対し一切の責任を負わないものとします。

第17条（サービスの休止・廃止）

1. 当社は本サービスの全部または一部を、廃止日の180日前までに利用者に通知することにより、当社の判断において休止または廃止する場合があります。
2. 当社は、本サービスの全部または一部を休止または廃止したことにより利用者が何らかの損害を被った場合といえども、利用者に対し何らの責任も負わないものとします。
3. 本サービスの全部または一部が休止または廃止される場合、その時点で有効な利用契約は、本サービスの全部または一部が廃止または休止される範囲において終了するものとします。

第4章 サービス料金

第18条（サービス料金）

1. 利用者は、本規約及びThe Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧の定めに基づき、当社に利用期間のサービス料金を支払うものとします。
2. サービス料金についての詳細は、別途当社から提示する見積書に基づき、当社と利用者との間で

協議を行い、注文書に定めるものとします。

第19条（サービス料金の支払方法）

利用者は、第18条の定めに従い算出されるサービス料金を、注文書に記載の支払条件に基づき、支払うものとします。

第20条（サービス料金の見直し）

当社は、経済情勢の変動または諸物価の高騰等、その他本サービスの運営上必要な事由が発生したことによりサービス料金が不相応となった場合、サービス料金の見直しを行うことがあります。

第21条（遅延損害金）

1. 利用者が、サービス料金等をその支払期日を経過してもなお支払わない場合、遅延損害金が生じるものとし、当社は利用者に対し、当該支払期日の翌日から当該債務の履行完了日の前日までの期間につき、年365日（閏年の場合は年366日）による日割計算により年率14.6%の割合による遅延損害金を請求できるものとします。
2. 当社は前項の金額を算出するにあたり、1円未満の端数が生じる場合、当該端数を切り捨てします。

第5章 責任等

第22条（保証及び責任の制限）

1. 当社は、本規約及びThe Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧の定めに従って、本サービスを利用者に提供することを保証します。
2. 当社は、本サービスの利用により利用者が何らかの損害を被った場合といえども、本規約に明示する以外に、何らの保証または責任も負わないものとします。
3. 前各項の定めにかかわらず、利用者が本サービスを利用できなかった原因が次の各号に定めるいずれかの事由による場合、当社は何ら責任を負いません。
 - (1) 第15条第1項並びに第16条第1項により当社が本サービスの提供を停止または制限したこと
 - (2) 利用者が第34条第1項に定める事由に該当したことにより当社が利用契約を解除したこと
 - (3) 本サービス用設備までのインターネット接続サービスの不具合その他利用者設備の障害
 - (4) 本サービス用設備からの応答時間等インターネット接続サービスの性能値に起因する損害
 - (5) 当社が定める本サービス利用上の手順、セキュリティ手段等の違反
 - (6) 当社が導入している業界標準のコンピュータウイルス対策ソフトウェアが対応していない種類のコンピュータウイルスの本サービス用設備への感染
 - (7) 善良な管理者の注意をもってしても防御できない本サービス用設備への第三者による不正アクセスまたはアタック、通信経路上での傍受に起因する損害等
 - (8) 回線エラーを含む電気通信事業者の提供する電気通信役務の不具合に起因して発生した損害

- (9) 法律の定めに基づく強制処分その他裁判所の命令若しくは法令に基づく対応
- (10) その他当社の責めに帰すべからざる事由

第23条（損害賠償）

利用者及び当社は、利用者による本サービスの利用及び利用契約の履行に関し相手方の責めに帰すべき事由により何らかの損害を被った場合、相手方と協議の上、相手方に対し当該事由により被った通常かつ直接の損害に限り賠償を請求できるものとします。なお、当社が利用者に賠償する範囲は、当該損害が発生した利用期間にかかるサービス料金1ヵ月分を上限とします。

第24条（免責・非保証）

1. 利用契約に関して当社が利用者に対して保証及び補償する責任は、第22条及び第23条の内容をもって全てとし、当社は、それ以外に本サービスの利用により利用者が被った直接あるいは間接その他の損害（逸失利益を含む）について、何ら責任を負いません。また、当社は、The Amoeba クラウドサービス 品質目標値に定める基準に未達であったとしても、利用者に対して何ら保証または、責任を負いません。
2. 当社は、本サービスで提供するデータについての有用性、真実性、可用性等について保証せず、本サービスで提供したデータの内容、配信の遅延、欠落のために発生した直接あるいは間接その他の損害（逸失利益を含む）について、何ら責任を負いません。ただし、当社の故意または重過失による場合はこの限りでないものとします。

第25条（利用者責任）

1. 利用者は、本サービスを利用することにより他の利用者その他の第三者との間で、原因を問わず何らかの紛争等を生じさせた場合、当該紛争等を自らの責任において解決すると共に、当社に何らの損害も被らせないものとします。
2. 前項の定めにもかかわらず、利用者は、本サービスを利用し他の利用者その他の第三者に損害を与え、その結果として、当社が何らかの損害を被った場合、当社にその損害を賠償するものとします。

第6章 一般条項

第26条（権利義務の譲渡等）

利用者は、利用契約上の地位またはこれに基づく権利若しくは義務の全部若しくは一部を、事前に当社の書面による承諾がない限り、第三者へ譲渡若しくは貸与等してはならないものとします。

第27条（業務委託）

当社は、本サービスの提供に必要な場合、本サービスの提供にかかる業務の一部を当社の指定にかかる第三者（以下「再委託先」といいます）に委託できるものとします。

第28条（関係法令等の遵守）

利用者は、関係法令及び関係当局の指導並びに公正な商習慣を遵守すると共に、本サービスを円滑に運営するための当社からの要請に誠実に従うと共に、当社が必要とする協力を行うものとします。

第29条（秘密情報の取り扱い）

1. 利用者及び当社は、相手方から秘密情報の開示を受けた場合、相手方の事前の書面による承諾を得ずに、当該秘密情報を第三者に開示または漏洩しないものとします。ただし、次の各号のいずれかに該当する情報及び第30条に規定する個人情報については、秘密情報の対象外とします。
 - (1) 受領の時点において、既に保有している情報
 - (2) 秘密保持義務を負うことなく第三者から正当に入手した情報
 - (3) 相手方から提供を受けた情報によらず、独自に開発した情報
 - (4) 本規約に違反することなく、かつ受領の前後を問わず公知となった情報
2. 前項の定めにかかわらず、利用者及び当社は、秘密情報のうち法令の定めに基づきまたは権限ある官公署からの要求による開示義務に基づき開示すべき情報を、当該法令の定めに基づく開示先または当該官公署に対し開示することができるものとします。この場合、利用者及び当社は、関連法令に反しない限り、当該開示前に開示する旨を相手方に通知するものとし、開示前に通知を行うことができない場合は開示後すみやかにこれを行うものとします。
3. 秘密情報の提供を受けた当事者は、当該秘密情報の管理に必要な措置を講ずるものとします。
4. 秘密情報の提供を受けた当事者は、相手方より提供を受けた秘密情報を本サービスの利用または提供する目的の範囲内でのみ使用し、本サービスの利用または提供するために必要な範囲内で秘密情報を複製、翻案または改変することができるものとします。この場合、利用者及び当社は、当該複製、翻案または改変された秘密情報についても、本条に定める秘密情報として取り扱うものとします。
5. 前各項の規定にかかわらず当社が必要と認めた場合には、当社は、再委託先に対して再委託のために必要な範囲で秘密情報を開示することができます。ただし、この場合、当社は再委託先に対して、本条に基づき当社が負う秘密保持義務と同等の秘密保持義務を負わせるものとします。

第30条（個人情報の取り扱い）

当社は、本サービスの提供により取得する利用者の個人情報（生存する個人に関する情報であって当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができそれにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む）をいいます）を、当社がWebサイト上にて開示する

個人情報保護方針(<http://www.kccs.co.jp/policy/privacy.html>)に基づき取り扱うものとします。

第31条（知的財産権の取扱い）

1. 当社（再委託先を含む）が本サービスを提供する過程で創作した著作物（本サービスの提供の過程で中間的に作成された一切のデータ及びプログラムを含む）にかかる著作権（著作権法27条及び28条に規定する権利を含み、以下同じ）その他一切の知的財産権（ノウハウに対する権利を含む）、及び本サービス提供の結果生じた著作権及びその他の知的財産権（ノウハウに対する権利

を含む) は、全て当社に帰属するものとします。

2. 利用者は、本サービスを利用することにより得られる一切の情報について、当社または当該情報に関する正当な権限を有する権利者の許諾を得ることなく、複製、出版、放送、その他これに類する行為等をいかなる方法でも行ってはならず、第三者をして行わせてもならないものとします。
3. 利用者は、本サービス用設備の全部または一部の複製、改変、翻訳、翻案、修正、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル及びその他著作権法による禁じられた行為を行ってはならないものとします。

第32条 (反社会的勢力の排除)

1. 利用者及び当社は、自らが次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、また将来にわたっても該当しないことを保証します。
 - (1) 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係者・関係企業、総会屋、社会運動・政治運動標ぼうゴロ、その他の反社会的勢力 (以下、総称して「反社会的勢力」といいます) のいずれかに該当すること
 - (2) 反社会的勢力が経営に実質的に関与している法人等であること
 - (3) 反社会的勢力に資金を提供し、または便宜を供与する等の関係にあること
 - (4) 反社会的勢力と社会的に非難される関係にあること
2. 利用者及び当社は、自らまたは第三者を利用して、次の各号のいずれの行為も行わないことを表明し、また将来にわたっても行わないことを保証します。
 - (1) 暴力的な要求行為または法的な責任を超えた不当な要求行為
 - (2) 脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
 - (3) 風説を流布し、偽計または威力を用いて相手方の信用を毀損し、業務を妨害する行為
 - (4) その他前各号に準ずる行為

第33条 (利用契約の解約)

1. 利用者は利用契約の解約を希望する場合、解約希望日の60日前までに当社が定める方法により、当社に届け出るものとします。
2. 前項の場合において、利用契約の解約までに発生した利用者の一切の債務は、利用契約の解約があった後においてもその債務が履行されるまでは消滅しません。
3. 第1項に基づき、利用者が利用期間の途中に利用契約を解約した場合においても、当社は受領済みのサービス料金を返還する義務を負わないものとします。
4. 利用者は、第8条に定める最低利用期間内に利用契約の解約する場合、当社が定める期限までに、解約日以降最低利用期間満了日までの残余の期間に対応するサービス料金に相当する額を一括して当社に支払うものとします。

第34条 (期限の利益喪失・利用契約解除)

1. 利用者及び当社は、自らが次の各号のいずれかに該当した場合、相手方に対する債務につき当然に期限の利益を失い直ちに当該債務を履行する責を負うものとします。
 - (1) 重大な過失または背信行為があった場合

- (2) 仮差押、差押、競売手続開始、破産手続開始、民事再生手続開始、会社更生手続開始、特別清算開始の申立てを行い、または申立てられた場合
 - (3) 解散決議をし、または営業を廃止した場合
 - (4) 自ら振り出しまたは引き受けた手形、自ら振り出した小切手の不渡りを1回でも出した場合、その他資産、信用、支払能力に重大な変更を生じ、または生じるおそれがあると判断される場合
 - (5) 故意または過失により相手方に重大な損害を与えた場合
 - (6) 本規約及び利用契約の各条項（本規約第32条を除く）のいずれかに違反し、相手方より相当の期間を定めて是正の催告を受けたにもかかわらずなお是正されない場合
 - (7) 第16条の定めにより本サービスの提供停止を受けた利用者が当社から是正期間を定めた催告を受けたにもかかわらず、なおその事由が解消されない場合
 - (8) 利用契約を継続し難い重大な事由が発生した場合
 - (9) 第32条の定め違反した場合
2. 利用者及び当社は、相手方が前項に定めるいずれかに該当した場合、直ちに利用契約の全部または一部を解除できるものとします。なお、本項の定めは、相手方に対する損害賠償の請求を妨げるものではありません。

第35条（存続条項）

利用契約が終了した場合といえども、第1条第2項、第5条第3項、第6条第5項、第7条第4項、第10条後段、第12条第2項、第12条第4項、第12条第6項、第15条第1項なお書、第16条第1項なお書、第17条第2項、第20条乃至第26条、第29条乃至第30条、第33条第2項、第33条第3項、第33条第4項、第34条第2項、本条、第36条、第37条、第39条に規定する定めは、なお有効に存続するものとします。ただし、第29条に基づく秘密保持義務の存続期間は、利用契約終了後3年間とします。

第36条（利用契約終了後の措置）

1. 当社は利用契約が終了した場合、当社の判断に基づき、いつでも利用者情報を破棄できるものとし、利用契約終了後においてはこれらの情報に対して何らの義務も負わないものとします。
2. 当社は、前項により利用者情報を破棄することにより利用者が何らかの損害を被った場合といえども、利用者に対して一切の責任を負わないものとします。

第37条（サービスレベル）

1. 当社は、別途当社が定めるThe Amoeba クラウドサービス 品質目標値を満たすよう、商業的に合理的な努力を払って本サービスを提供します。
2. 当社は、本規約及びThe Amoeba クラウドサービス ご利用内容一覧に基づく本サービスの内容を変更しない範囲で、いつでも変更できるものとします。この場合、別途当社が指定する日以降、当該変更後のThe Amoeba クラウドサービス 品質目標値が適用されるものとします。
3. The Amoeba クラウドサービス 品質目標値は、利用契約等で除外されているサービス及び免責事項に起因して生じた一切の問題には適用されません。

第38条（準拠法）

利用契約は、常に現行の日本国の法令に準拠するものとします。

第39条（提供地域）

本サービスの提供区域は、利用契約等で特に定める場合を除き、日本国内に限定されるものとします。

第40条（合意管轄）

利用契約に関して利用者、当社間にて何らかの紛争が生じた場合、当社の本店所在地を管轄する裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第41条（協議）

利用者及び当社は、本規約、利用契約の各条項の解釈に疑義が生じた場合または本規約、利用契約に記載のない事項について、信義に基づき誠実に協議を行い、その解決にあたるものとします。

以上

規約適用日 平成28年6月15日